

令和8年 第2回 区づくり推進横浜市会議員会議（青葉区）

次 第

日 時 令和8年6月11日（木）
14時30分 ～ 15時50分

- 1 開会
- 2 座長の選出
- 3 区長あいさつ
- 4 報告
令和8年度 青葉区運営方針について ・ ・ ・ 資料1
- 5 議事
 - (1) 「令和8年度 青葉区に係る予算のすがた」について ・ ・ 資料2
 - (2) 「令和8年度 個性ある区づくり推進費 執行状況」について ・ 資料3
- 6 閉会

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。

市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」であり続けるための取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然に恵まれ、地域活動をはじめ、さまざまな活動が活発に行われている魅力にあふれたまちです。青葉区では、中期計画を踏まえ、区民の皆様に暮らしやすさやまちへの愛着をさらに感じていただくとともに、区外の方にも魅力的で選ばれるまちづくりを進めるため、区民の皆様から寄せられた意見を取り入れながら、4つの柱をもとに取組を推進します。

「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」であり続けるために

①安心・安全に暮らせる
持続可能なまち



▲防犯パトロールの実施

②誰もが健康で自分らしく、
いきいきと活躍できるまち



③魅力的でいつでも
愛着を持って暮らせるまち



▲横浜グリーンエクスポ
開催に向けた機運醸成

④安心して出産や育児ができ、
子どもたちの未来を創るまち



▲子育て教室の開催

市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展

「明日をひらく都市」の実現



令和8年度 青葉区 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策

①安心・安全に暮らせる 持続可能なまち

毎日の安心・安全

防災・減災

・災害に強く、防犯力の高い、将来の世代にわたって誰もが暮らしやすく安心して安全なまちづくりを進めます。

②誰もが健康で自分らしく、 いきいきと活躍できるまち

医療・保健

高齢・長寿

障害児・者

暮らし・コミュニティ

・高齢者や障害者の社会参加の促進等を通じて、誰もが健康で自分らしく活躍し、つながり・支え合う地域づくりを進めます。

③魅力的でいつまでも 愛着を持って暮らせるまち

暮らし・コミュニティ

にぎわい・スポーツ・文化

産業

まちづくり

環境との共生

みどり

・横浜グリーンエクスポを見据え、花・緑・農など青葉区の特徴を生かした取組を進めます。
・将来に向けた魅力的なまちづくりを検討し、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。

④安心して出産や育児ができ、 子どもたちの未来を創るまち

こども・子育て

教育

・誰もが安心して出産や子育てができ、未来を創る子どもたちが社会との関わりの中で健やかに成長できる環境づくりを進めます。

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

① 地域連携力を高めます

・地域との「顔の見える関係」を大切にし、ながら、地域の状況や課題、想いを共有し、分野を越えてオール青葉区役所で、区民の皆様とともに課題解決に取り組めます。

② 区民の皆様の信頼に応えます

・区民の皆様の想いや意見を受け止め、しっかりと寄り添いながら、丁寧・迅速・正確な対応を心がけます。
・事務事業の点検・効率化をはじめとしたリスクマネジメントを推進し、適正な事務の執行に努めます。

③ チーム力・職員力を高めます

・課の枠を超えた情報共有や連携を強化し、協力し支え合える組織づくりを進めます。
・OJT、研修など人材育成に努め、職員のモチベーション・能力の向上、職場全体のチーム力を高めます。

①安心・安全に暮らせる持続可能なまち

青葉区防災の街づくり事業

- ✓ 地域防災拠点の表示板リニューアル
- ✓ 地域と連携した小中学生等対象の防災講座
- ✓ ペットの同行避難についての飼い主への周知

地域防犯の支援

- ✓ 防犯グッズ貸与や防犯灯の設置
- ✓ 地域防犯カメラの設置補助拡充
- ✓ 小学生等がタグを携帯し、スマホから位置情報等が確認できる見守りサービス(一部地域でのモデル実施)

都市計画道路等の整備

- ✓ 平崎橋交差点の改良工事
- ✓ 川崎町田線(田奈地区)、恩田元石川線(鉄地区、元石川地区)の用地取得に向けた取組

公園環境整備加速化事業

- ✓ 公園内トイレの洋式化工事

②誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち

地域包括ケアシステムの推進

- ✓ 認知症の方が安心して利用できる店舗等の拡充を通じた、認知症に関する正しい理解の普及
- ✓ eスポーツ等を通じた、シニア世代の地域社会への参加の後押し



▲eスポーツ体験会

障害者ふれあい事業

- ✓ 重症心身障害児・者への理解を進めるための講演会
- ✓ 障害のある方もない方も一緒に楽しめるユニバーサル野球イベント

快適で衛生的な暮らし支援事業

- ✓ 食品、医薬品、居住環境、ペット等の問題についての適切な情報提供

③魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち

青葉魅力向上事業

- ✓ 地産地消マルシェ等の都市農業や緑地を生かした取組
- ✓ 区内の6つの大学と連携した取組
- ✓ 都市計画マスタープランにおける区プランの策定

脱炭素化促進事業

- ✓ 環境性能の高い住宅の普及や横浜市シェアサイクル事業の推進
- ✓ 区内市立小学校への環境出前授業の実施

広報・広聴事業

- ✓ ガイドマップ等による転入者等への区政情報の提供
- ✓ マスコットキャラクター「なしかちゃん」で魅力発信

データ活用推進事業

- ✓ 社会資源や区民ニーズ等を把握する調査の実施

横浜グリーンエキスポ開催に向けた機運醸成

- ✓ 花・緑・農など、青葉区が誇るさまざまな特色を生かした、横浜グリーンエキスポのさらなる機運醸成

④安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち

子育て支援の充実

- ✓ 父親同士が交流できる機会の提供
- ✓ 夏場に屋内で子どもが遊べる場の提供
- ✓ 地域子育て支援拠点の日曜開所(年2回)
- ✓ 区役所での子育て関連の相談等に安心して専念できるよう見守り保育を実施
- ✓ 児童虐待防止対策とDV等に関する女性福祉相談を通じた支援



▲青葉区地域子育て支援拠点ラフル

★その他の事業・取組については、青葉区HP「令和8年度青葉区予算」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/uneihoshin-yosan/yosan/R8yosan.html>



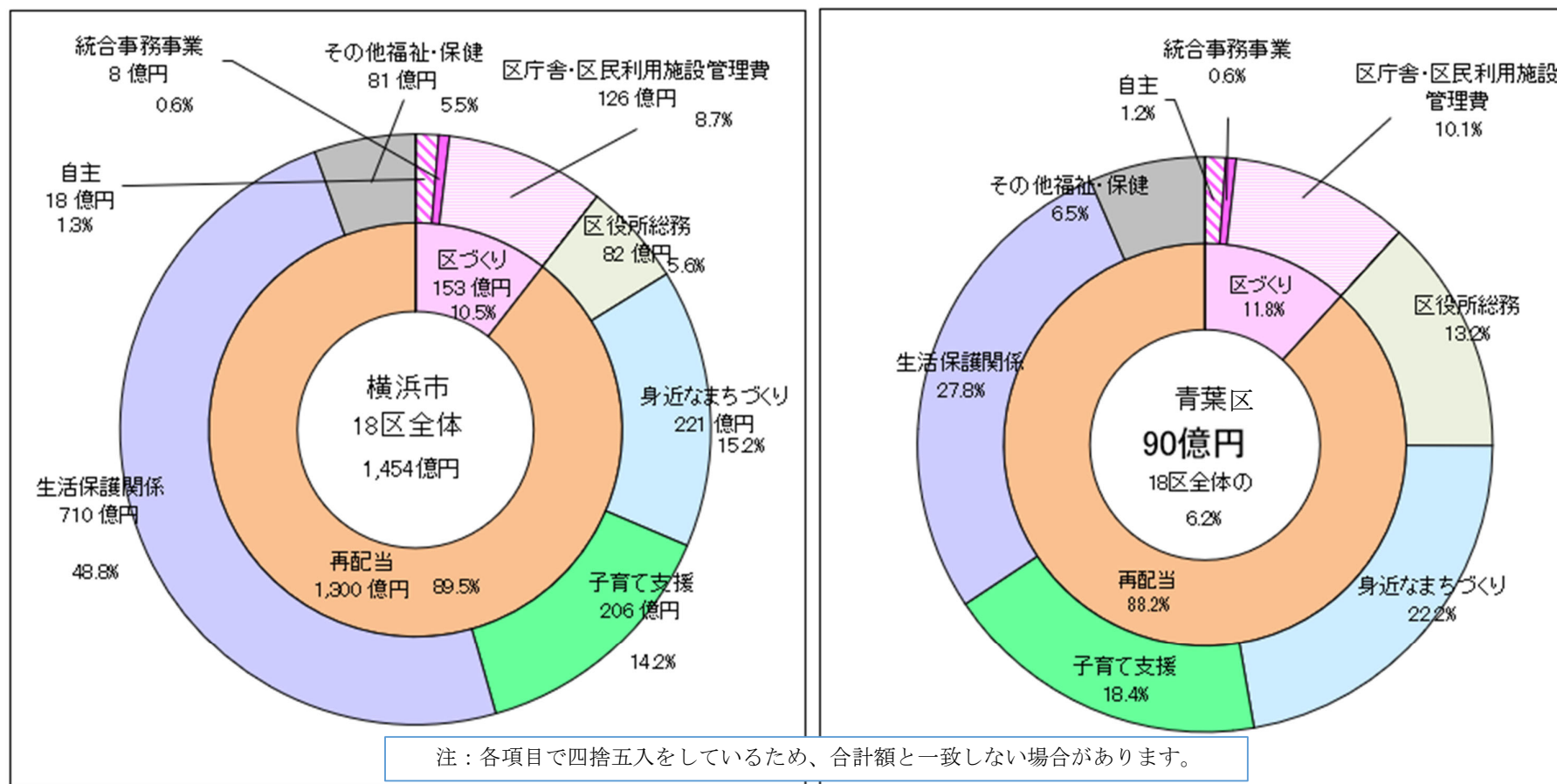
青葉区マスコットキャラクター
なしかちゃん



青葉区に係る予算のすがた（令和８年度一般会計予算）

資料 2

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一一般会計の規模は２兆 993 億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は 1,454 億円です。この区が執行している予算に焦点をあてて、各区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



青葉区の予算の特徴

令和8年度一般会計予算の中で、青葉区の予算（人件費を除く）は、約90億円となっており、18区全体の予算のおよそ6.2%を占めています。これは、単純に区民1人当たりに換算すると、約29,000円となります（令和8年4月1日現在の人口から算定）。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約10億6千5百万円となっており、青葉区に係る予算の約11.8%となっております。「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、青葉区全体の約88.2%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は区全体の予算の約27.8%（約25億円）を占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は区全体の予算の約18.4%（約17億円）となっています。さらに、「身近なまちづくり」として区全体の予算の約22.2%（約20億円）を占めているのは、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっています。

このように青葉区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業と、局からの予算の再配当を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業とで成り立っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	1,065	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	105	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	52	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	909	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	7,965	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	1,196	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	221	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	23	「広報よこはま」や「県のとより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	952	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	2,007	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 2,295 百万円
道路修繕費等	1,340	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	90	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(288)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	577	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。

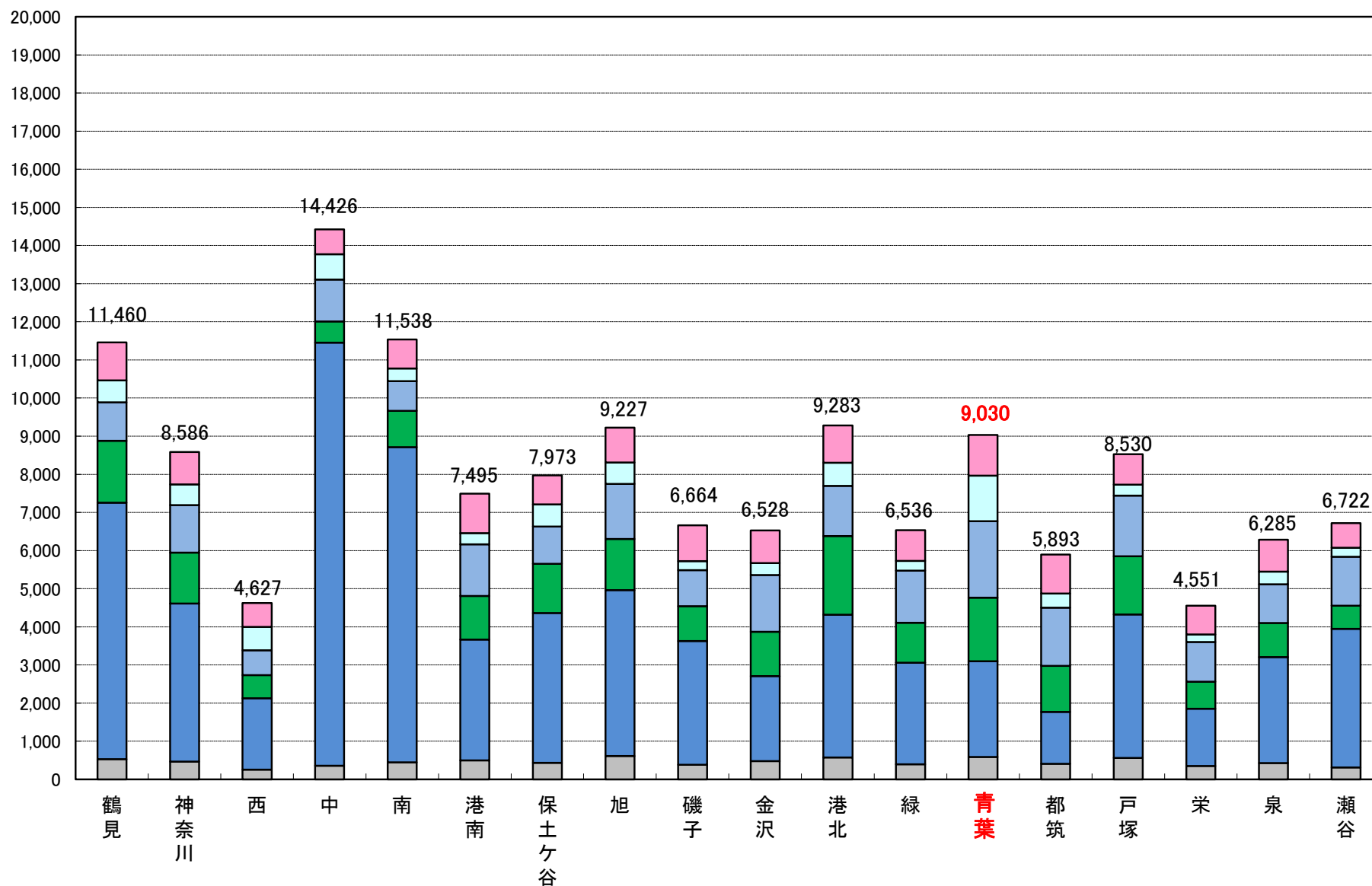
(単位:百万円)

分類	予算	説明
子育て支援	1,662	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	116	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	1,330	放課後キッズクラブ運営のための補助金等
地域子育て支援拠点等	217	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	2,510	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	2,475	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯2,003世帯)
生活困窮者自立支援	35	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	589	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	189	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	32	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	368	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	9,030	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,318 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
 ※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
 (現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。)

予算額
(百万円)

18区の令和8年度一般会計予算額



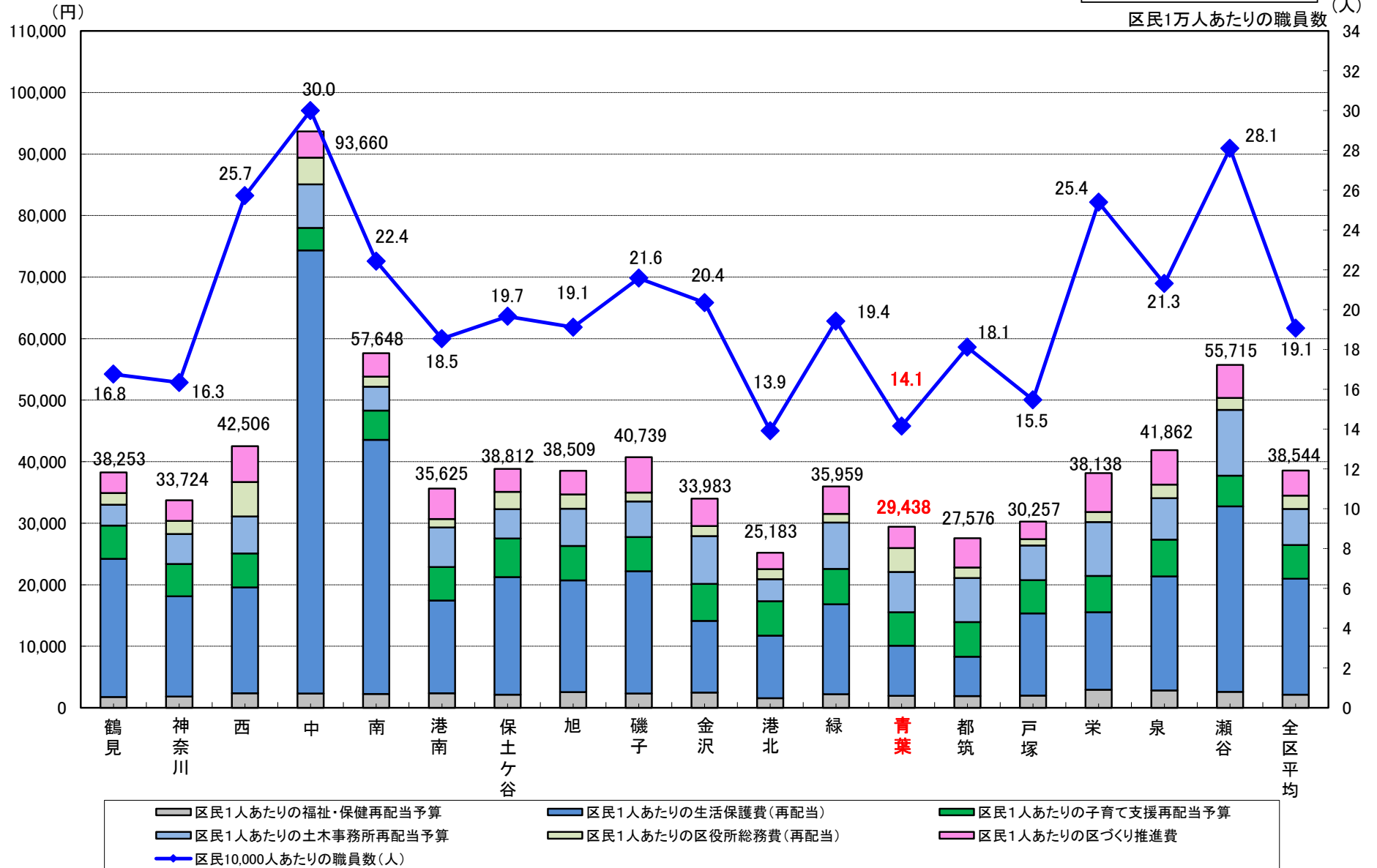
■ その他福祉・保健(再配当予算)
 ■ 生活保護関係(再配当予算)
 ■ 子育て支援(再配当予算)
 ■ 土木事務所関係(再配当予算)
 ■ 区役所総務費(再配当予算)
 ■ 区づくり推進費

区民1人あたりの予算額及び区民1万人あたりの区役所職員数

人 口: 令和8年4月1日現在
職 員: 令和8年4月14日現在
予算額: 令和8年度予算

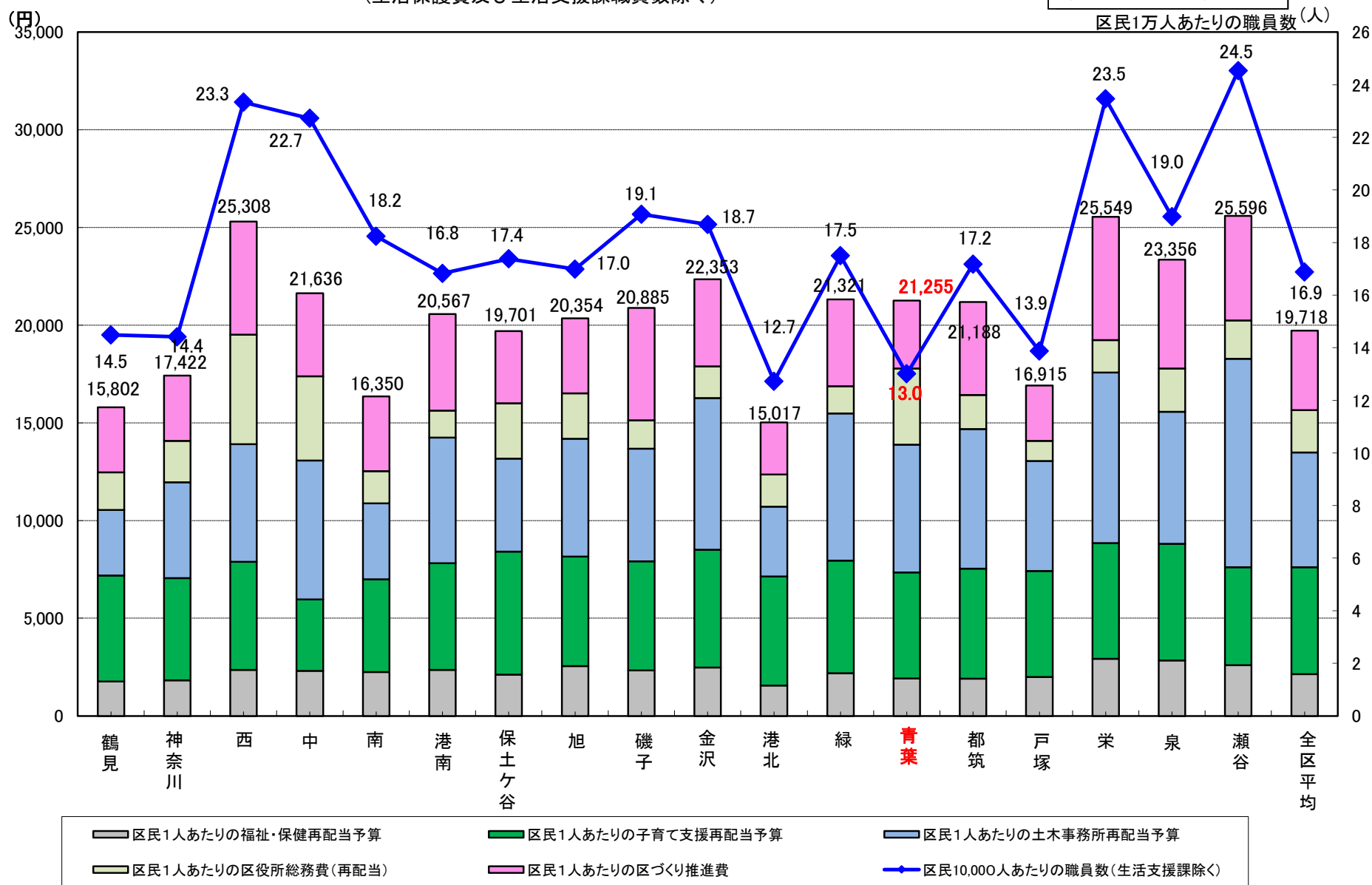
区民1人あたり予算額

区民1万人あたりの職員数



区民1人あたりの予算額
 区民1人あたりの予算額及び区民1万人あたりの区役所職員数
 (生活保護費及び生活支援課職員数除く)

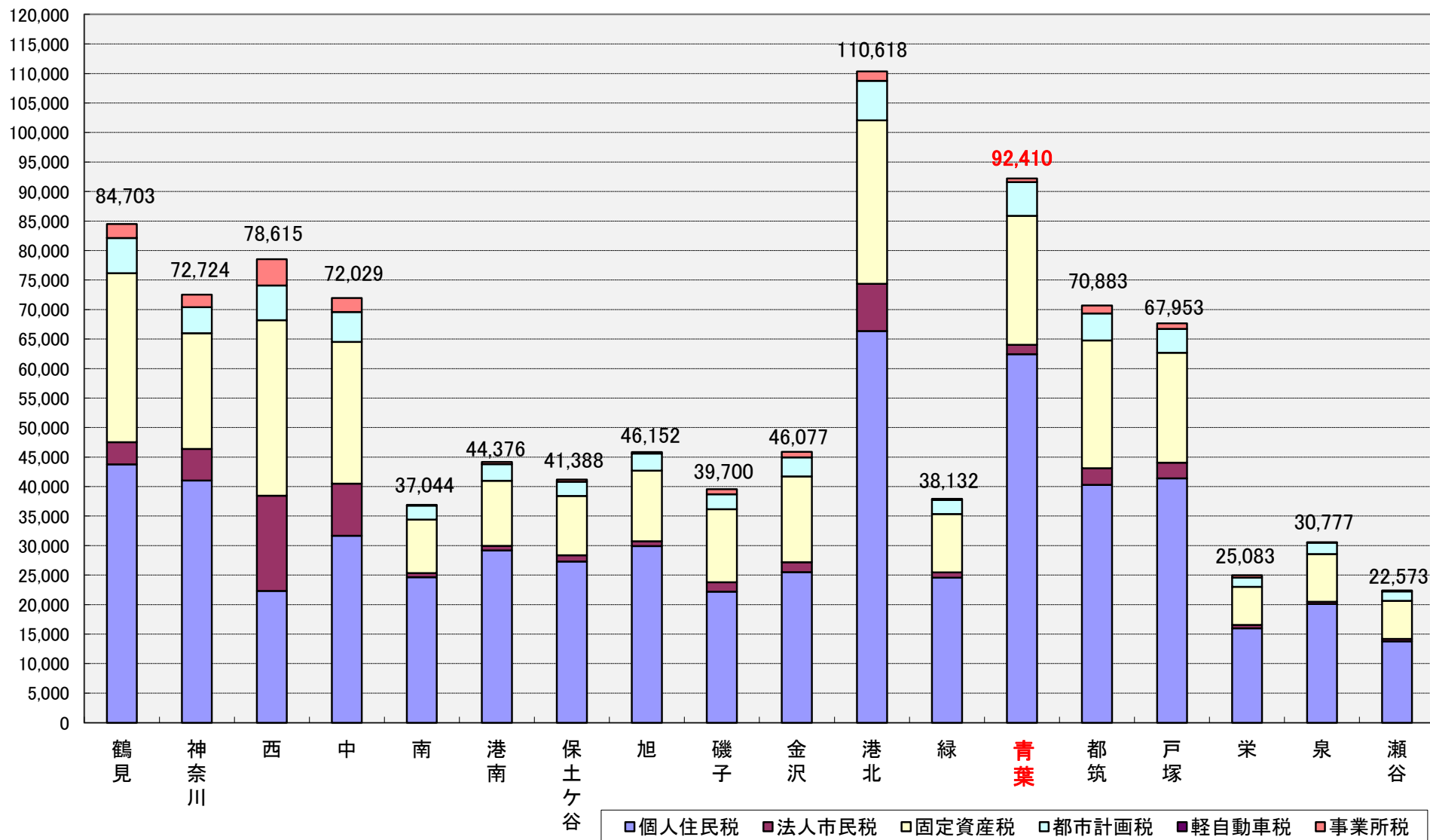
人 口: 令和8年4月1日現在
 職 員: 令和8年4月14日現在
 予算額: 令和8年度予算



税額（百万円）

区別課税額

個人住民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税：令和7年度当初課税額
法人市民税、事業所税：令和6年度申告税額

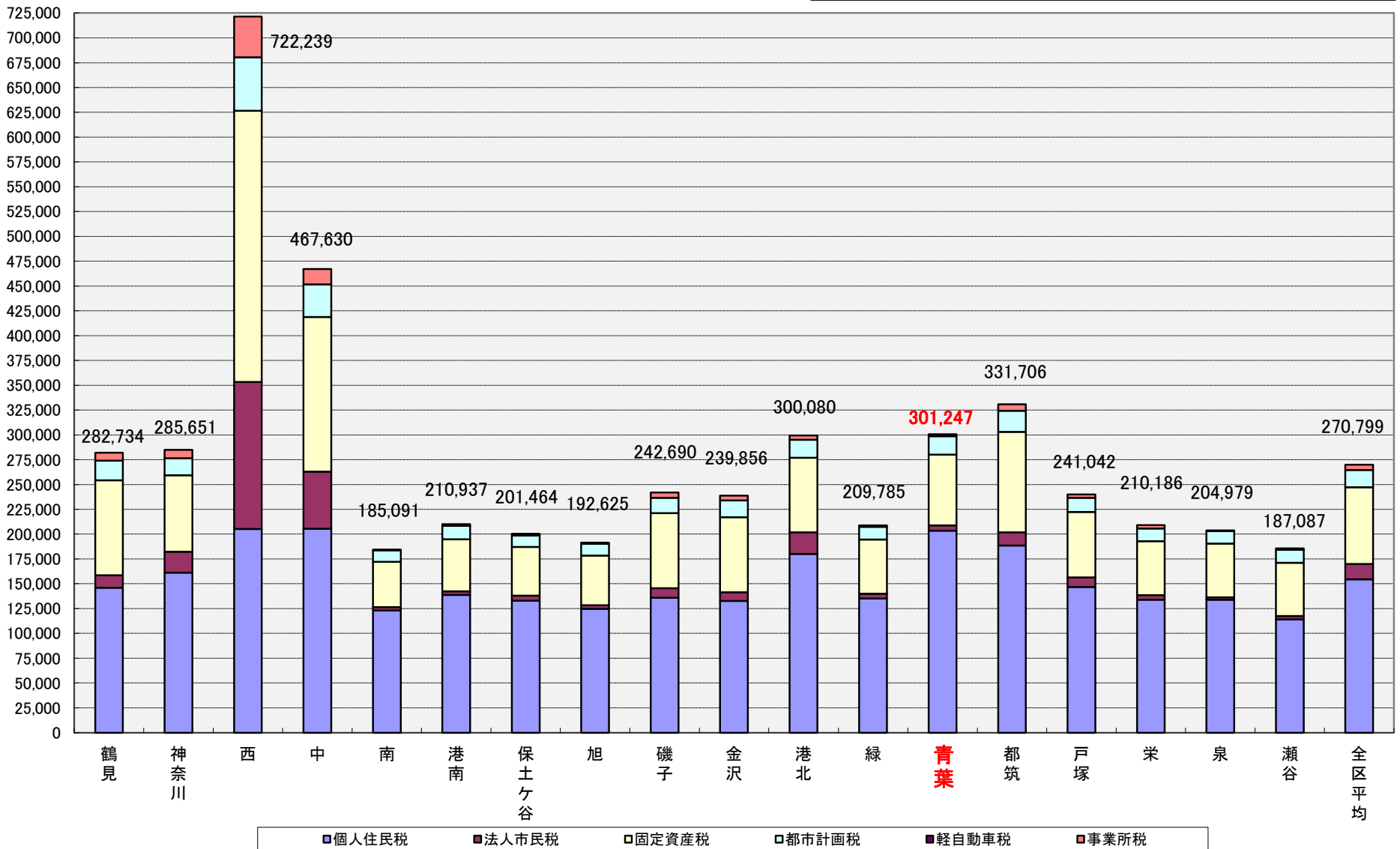


※ 個人住民税＝個人市民税＋個人県民税

区民1人あたり課税額

個人住民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税：令和7年度当初課税額
法人市民税、事業所税：令和6年度申告税額

税額(円)



令和8年度 自主企画事業費 事業別一覧

資料3

合計29事業

(単位：千円)

事業		令和8年度	令和7年度	増 減	ページ
＜市民生活の安心・安全＞					
1 安心・安全に暮らせる持続可能なまち		16,154	14,489	1,665	
1	青葉区防災の街づくり事業	9,842	8,295	1,547	
2	地域防犯支援事業	1,721	1,599	122	
3	交通安全対策事業	4,591	4,595	▲ 4	
2 誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち		11,115	14,077	▲ 2,962	
1	地域包括ケアシステムの推進	1,749	2,365	▲ 616	
2	障害者ふれあい事業	1,726	2,212	▲ 486	
3	青葉区健康づくり支援事業	3,729	4,643	▲ 914	
4	地域福祉保健推進事業	2,623	3,633	▲ 1,010	
5	快適で衛生的な暮らし支援事業	942	878	64	
6	障害児支援事業	346	346	0	

合計29事業

(単位：千円)

事業		令和8年度	令和7年度	増減	ページ
＜青葉区の持続的な成長・発展＞					
3 魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち		63,077	61,005	2,072	
1	青葉魅力向上事業	6,090	4,566	1,524	
2	脱炭素化促進事業	3,500	3,300	200	
3	広報・広聴事業	4,448	1,985	2,463	
4	メディアによる広報事業	5,267	5,267	0	
5	データ活用推進事業	3,318	5,818	▲ 2,500	
6	青葉区民まつり事業	7,340	5,675	1,665	
7	芸術文化振興事業	4,930	5,220	▲ 290	
8	地域スポーツ振興事業	4,400	4,100	300	
9	区民活動支援センター事業	3,423	3,511	▲ 88	
10	青葉まちの美化推進事業	2,849	2,994	▲ 145	
11	自治会町内会支援事業	2,241	2,141	100	
12	あおば地域サポート事業	1,760	2,055	▲ 295	
13	花と緑があふれる街事業	1,742	1,712	30	
14	商店街活性化・中小企業振興事業	1,650	1,445	205	
15	地域での読書活動推進事業	640	700	▲ 60	
16	区民サービス向上事業	9,479	10,516	▲ 1,037	
4 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち		14,588	15,769	▲ 1,181	
1	子育て支援事業	9,558	10,827	▲ 1,269	
2	児童虐待・DV対策事業	2,756	2,596	160	
3	市立保育所の地域育児支援事業	1,588	1,540	48	
4	青少年育成事業	686	806	▲ 120	
合 計		104,934	105,340	▲ 406	

<市民生活の安心・安全>		
1 安心・安全に暮せる持続可能なまち		R8 : 16,154 千円、R7 : 14,489 千円、増減 : 1,665 千円
1 青葉区防災の街づくり事業	総務課、福祉保健課、生活衛生課	R8 : 9,842 千円、R7 : 8,295 千円、増減 : 1,547 千円
区防災計画に基づき、「避難者対策」、「区災害対応の強化」、「災害に強い人づくり」、「医療救護等の対策」、「災害時のペット対策」に重点をおき、地域防災力の向上を目指します。あわせて、「減災」及び「自助・共助」の考え方を区民に周知します。 (1) 地域防災拠点支援事業 (R8 : 4,219 千円、R7 : 2,040 千円、増減 : 2,179 千円) <拡充> ・拠点総会 (5月26日) ・訓練支援、資機材修繕、拠点備蓄品配備 (通年) ・拠点表示板の更新 (9月～3月) (2) 区災害対策本部運営事業 (R8 : 2,240 千円、R7 : 3,220 千円、増減 : ▲980 千円) ・区災害対策本部運営用スマートフォンの更新等 (1月頃) ・情報受伝達ツールの管理運用 (通年) (3) 防災啓発事業 (R8 : 2,410 千円、R7 : 2,000 千円、増減 : 410 千円) <拡充> ・小中学生等を対象とした防災講座 (7月～12月) 【申込10校 (4月実績)】 新たに地域防災拠点運営委員とともに講座を実施することで、小中学生と地域活動者の顔の見える関係をつくれます。 ・防災マップの配付等による区民への防災啓発 (通年) (4) 災害時医療体制整備事業 (R8 : 406 千円、R7 : 411 千円、増減 : ▲5 千円) 地域定点診療拠点において活用する物品の整備や、訓練の支援、Yナースへの働きかけ、災害医療連絡会議等を実施します。 ・災害時地域医療検討部会 (毎月) ・災害時医療連絡会議 (3月) (5) 災害時のペット対策事業 (R8 : 567 千円、R7 : 624 千円、増減 : ▲57 千円) ・市及び区の防災計画に基づいたペットの同行避難について飼い主への周知啓発を実施 (通年)		

再配当事業

青葉区庁舎浸水対策事業 (市民局)

大雨等による区庁舎への水の流入を防ぐため、
止水板・止水壁の設置等の対策工事を行います。
(契約期間：令和8年3月～令和9年7月)

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

2 地域防犯支援事業	地域振興課	R8 : 1,721 千円、R7 : 1,599 千円、増減 : 122 千円
防犯グッズの貸与による、地域の自主的な防犯活動団体への支援にあわせ、警察との連携による高齢者を対象とした特殊詐欺対策や広報を活用した啓発等により、区民の皆様の防犯に対する意識向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進します。		
(1) 自主的な防犯活動支援事業 (R8 : 1,421 千円、R7 : 637 千円、増減 : 784 千円)		
・地域の自主的な防犯活動団体に対する防犯グッズの貸与 (通年) 【2 団体へ貸与 (4 月実績)】 ・各地域の防犯パトロールへの参加 (通年) ・警察と連携した特殊詐欺対策機器の貸与 (通年)		
(2) 区民の防犯意識向上のための啓発事業 (R8 : 300 千円、R7 : 962 千円、増減 : ▲662 千円)		
・青葉区犯罪発生情報メール送信 (通年) ・「広報よこはま青葉区版」による啓発 (8 月、10 月、12 月) ・「あおバリューRadio」による啓発 (10 月又は 12 月) ・安全・安心まちづくり旬間出陣式 (10 月) ・警察及び防犯協会と連携した防犯キャンペーンの実施 (10 月)		
3 交通安全対策事業	地域振興課	R8 : 4,591 千円、R7 : 4,595 千円、増減 : ▲4 千円
区内の交通事故を減少させるため、児童等を対象とした交通安全教育、スクール・ゾーン対策、各季の交通安全キャンペーンを通じて交通安全の啓発を行います。		
(1) 青少年交通安全教育推進事業 (R8 : 4,236 千円、R7 : 4,240 千円、増減 : ▲4 千円)		
・区内小中学校へのリーフレット配布 (7 月) ・キャンペーン等啓発 (随時) ・小学校スクール・ゾーン対策協議会への活動助成金交付【申請 19 校 (4 月実績)】 ・スクール・ゾーン路面標示		
(2) 青葉区交通安全対策協議会 (R8 : 355 千円、R7 : 355 千円、増減 : 0 千円)		
青葉区小学生交通安全ポスターコンクールを行い、交通安全への意識啓発を図ります。また、協議会の総会を通じて区内の交通安全に関する取り組みを共有するとともに、区交通安全功労者の表彰を行います。		

2 誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち	R8 : 11,115 千円、R7 : 14,077 千円、増減 : ▲2,962 千円
1 地域包括ケアシステムの推進 高齢・障害支援課	R8 : 1,749 千円、R7 : 2,365 千円、増減 : ▲616 千円
2025 年には、団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、2040 年には団塊ジュニア世代が 65 歳以上の高齢者となるほか、団塊の世代を中心に 85 歳以上の人口が急速に増加すると予測されています。	
こうした状況を踏まえ、青葉区では 2040 年を見据えて、シニアの社会参加を推進するとともに、認知症への理解を始め様々な高齢者支援を通じて、地域で支え合いながら、高齢者が医療や介護が必要になっても安心して生活でき、自らの意思で自分らしく生きることができるよう、区の特성에応じた横浜型地域包括ケアシステムを推進します。	
(1) シニアの社会参加推進事業 (R8 : 1,236 千円、R7 : 1,532 千円、増減 : ▲296 千円) <拡充>	
・ e スポーツの PR、活動団体の交流・モチベーションの維持向上を目的に、新たに対抗戦と講演会を同時開催 ・ 敬老祝品贈呈 (9 月) ・ シニアいきいき芸能大会 (11 月 21 日)	
	
e スポーツ体験の様子 (R7. 11)	
(2) 高齢者支援事業 (R8 : 513 千円、R7 : 833 千円、増減 : ▲320 千円)	
・ 認知症サポーター養成講座開催支援、青葉区キャラバン・メイト連絡会活動支援 ・ 認知症普及啓発チラシ作成 (9 月) ・ 認知症の人を地域全体で見守り・理解促進する「あおば認知症フレンドリー協力機関」登録事業の推進【登録店舗等 38 か所 (4 月実績)】 ・ 医療と介護の連携促進を目的とした、多職種による「顔の見える場づくり会議」の実施	

2 障害者ふれあい事業

高齢・障害支援課

R8 : 1,726 千円、R7 : 2,212 千円、増減 : ▲486 千円

障害者の社会参加活動を活性化させ、地域とつながる共生社会の推進を目指します。障害福祉に関する地域への啓発をおこない、特に重症心身障害児者に関する障害理解や、増加する精神疾患に関する病気への理解を促進します。

(1) 障害児者支援事業 (R8 : 1,346 千円、R7 : 1,980 千円、増減 : ▲634 千円)

青葉区の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等を1冊にした当事者向け冊子「あおばでくらす」を増刷し、障害児者が青葉区での生活・就労等をしやすくなるようにします。制度変更に合わせて、障害者手帳交付者向け動画コンテンツを適宜改訂します。

また、障害者とボランティアの農業を通じた交流を目的としたふれあい農園事業を継続して実施します。

(2) 障害児者福祉普及啓発事業 (R8 : 380 千円、R7 : 232 千円、増減 : 148 千円) <拡充>

- ・精神保健福祉 区民向け普及啓発講座：テーマ「思春期・成人期の発達障害を理解する」(8・9・10・11月開催予定)
- ・重症心身障害児者 支援者向け講演会：年1回
- ・ユニバーサル野球イベント (10月24日)

ユニバーサル野球イベントの様子 (R7.11)



コラム ユニバーサル野球とは

障害のある人もない人も一緒に楽しめるよう開発された、大型の野球盤を用いたスポーツです。バッターボックスに立つと、まるで野球場にいるような臨場感が味わえ、身体に麻痺のある方や、筋力の弱い方でも野球を楽しむことができます。例年、桐蔭横浜大学の軟式野球部に運営ボランティアとして協力していただいています。

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

3 青葉区健康づくり支援事業	福祉保健課	R8 : 3,729千円、R7 : 4,643千円、増減 : ▲914千円
区民の食生活・歯科口腔・運動などの健康づくり活動を支援して生活習慣病を予防します。講話(教室)や相談、啓発、イベントを通して区民の健康に関する意識を高めるとともに、日常生活での健康づくり行動の実践を支援します。		
(1) 食育支援事業 (R8 : 2,151 千円、R7 : 1,899 千円、増減 : 252 千円) ※乳幼児健康づくり事業から統合による増		
健康づくりに役立つ食を中心とした啓発を食生活等改善推進員会(ヘルスメイト)に委託して実施します。また、乳幼児、保護者の食育について講話及び相談を実施します。		
・食生活等改善推進員による食育啓発 : 年6回、動画作成1本 ・乳幼児・保護者の食育(離乳食講座、幼児食講座) : 年108回【9回実施(4月実績)】		
(2) ウォーキング普及啓発事業 (R8 : 479 千円、R7 : 624 千円、増減 : ▲145 千円)		
保健活動推進員等と連携し、ウォーキングの普及啓発を行います。		
・保健活動推進員ウォーキング部会、研修会、ウォーキングイベントの随時開催 ・ウォーキングマップの配布		
(3) 乳幼児歯科保健指導事業 (R8 : 799 千円、R7 : 720 千円、増減 : 79 千円) ※乳幼児健康づくり事業から統合による増		
歯牙の萌出開始時期の幼児(0歳~1歳5か月児)を対象に歯科保健に関する講話と個別指導を実施します。		
・福祉保健センター : 年12回【1回実施(4月実績)】 ・地域ケアプラザ : 年3回 ・子育て支援拠点 : 年6回		
(4) 健康フェスティバル事業 (R8 : 300 千円、R7 : 1,400 千円、増減 : ▲1,100 千円) ※青葉区民まつり事業へ一部移管による減		
保健・衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催します(11月3日)。		

令和 8 年度 自主企画事業費 (事業別)

4 地域福祉保健推進事業	福祉保健課	R 8 : 2,623千円、R 7 : 3,633千円、増減 : ▲1,010千円
第 5 期地域福祉保健計画を推進するため、地域福祉保健計画策定・推進検討会や地区別計画推進会議を開催し、取組や課題を共有して地域課題の解決に取り組めます。また、各地区の取組を下支えするため、補助金の設置や地区サポートチームによる支援体制の強化に取り組めます。 (1) 地域福祉保健計画の推進 (R 8 : 1,239 千円、R 7 : 3,039 千円、増減 : ▲1,800 千円) ・地域福祉保健計画策定・推進検討会 : 上半期 1 回、下半期 1 回 ・社会福祉大会 : 年 1 回 (12 月 9 日) ・地区サポートチーム研修 : 年 1 回以上実施 (6 月 2 日) 、地区サポートチーム会議 : 各地区年 3 回以上実施 ・地域福祉保健計画地区別計画推進活動補助金 : 15 地区【 1 地区申請 (4 月実績) 】 (2) 青葉ふれあい見守り事業 (R 8 : 1,384 千円、R 7 : 594 千円、増減 : 790 千円) 民生委員児童委員が、概ね 70 歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を月に 1 回程度、訪問や見守り活動を実施し、必要に応じて区や地域包括支援センターに連絡し、在宅の福祉サービスなどにつなげていきます。 ・地域見守りサポート補助金 : 29 区域【 7 区域申請 (4 月実績) 】 ・民生委員児童委員担当区域図作成 : 100 区域 (2 月)		
5 快適で衛生的な暮らし支援事業	生活衛生課	R 8 : 942千円、R 7 : 878千円、増減 : 64千円
日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組むとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援します。 (1) 食品衛生普及啓発事業 (R 8 : 168 千円、R 7 : 80 千円、増減 : 88 千円) < 拡充 > ・食品衛生講習会 : 食品衛生責任者向け 6 月～10 月 計 5 回 食事ボランティア向け 2 月 計 1 回 ・食中毒予防パネル展示 : 7 月 24 日～31 日 (区役所) 、 9 月 1 日～14 日 (山内図書館) 、 11 月 (区民まつり、健康フェスティバル) ・保育施設向け手洗い啓発 (新たに手洗い啓発チラシ、手洗い啓発ソングを作成) : 8 月～ ・広報よこはま青葉区版掲載 : 8 月		

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

- ・青葉区役所公式 X (旧 Twitter) 投稿 : 3 回/年
- ・社会福祉施設・ボランティア等衛生支援 : 通年

(2) 動物の適正飼育推進事業 (R8 : 260 千円、R7 : 320 千円、増減 : ▲60 千円)

- ・犬の注射会場での啓発【4 回実施 (4 月実績)】
- ・犬の登録時の啓発、犬糞プレート交付、犬・猫苦情対応 (通年)
- ・ホームページ、X (旧ツイッター)、広報車での啓発 (随時)
- ・広報よこはま青葉区版 (3 月)
- ・ハチ、ネズミ等の防除に関する相談、物品の貸出 (通年)

(3) 各事業共通事務費 (R8 : 514 千円、R7 : 478 千円、増減 : 36 千円)

6 障害児支援事業

こども家庭支援課

R8 : 346 千円、R7 : 346 千円、増減 : 0 千円

発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童とその保護者にとって適切な支援となるよう、支援者のスキル向上を図ります。また、養育者がこどもの成長や特性を記入するための「サポートファイルかけはし」や、障害児通所事業所等の地域資源をまとめた「きらきらマップ」等を活用し、保護者と支援者、支援者同士、さらに地域も含め連携を深めます。

(1) 研修会開催 (R8 : 116 千円、R7 : 116 千円、増減 : 0 千円)

- ・支援者向け研修会開催 : 年 1 回

(2) 地域資源マップ (R8 : 230 千円、R7 : 230 千円、増減 : 0 千円)

- ・地域資源マップ (きらきらマップ) : 2 月発行予定

＜青葉区の持続的な成長・発展＞		
3 魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち		R 8 : 63,077 千円、R 7 : 61,005 千円、増減 : 2,072 千円
1 青葉魅力向上事業	区政推進課	R 8 : 6,090 千円、R 7 : 4,566 千円、増減 : 1,524 千円
青葉区の魅力をさらに発展させるとともに、持続可能なまちづくりを進めます。また、都市農業や豊かな緑地を生かした取組や、市内最多となる 6 つの大学と連携した取組などを通じて青葉区の魅力を高め、発信するとともに、都市計画マスタープランにおける区プランの策定年度であることから、計画の策定を進めます。 (1) 横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定 (R 8 : 2,000 千円、R 7 : 2,000 千円、増減 : 0 千円) 横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向け、青葉区プランの素案の作成、地域へのヒアリング等の作業を行います。 (2) 農あるまちづくり推進事業 (R 8 : 1,650 千円、R 7 : 1,650 千円、増減 : 0 千円) ・ 区の SNS などを通じた都市農業の魅力発信や理解促進 (通年) ・ 農体験の機会創出に向けた検討 ・ あおばマルシェ : 毎月第 3 木曜日開催 (年 12 回開催) ・ あおばグリーンマルシェ : 3 回開催予定 (第 1 回 6 月 16 日) ・ 農を身近に感じるまちあるきの開催 (3) 青葉 6 大学連携事業 (R 8 : 905 千円、R 7 : 905 千円、増減 : 0 千円) 区内にキャンパスを有する 6 つの大学と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行います。合わせて各大学の地域に向けた取組について、広報よこはま等で積極的に広報します。(6 月 25 日 代表者会議) (4) まちづくり関係会議等 (R 8 : 35 千円、R 7 : 11 千円、増減 : 24 千円) ・ あおば街づくり連絡協議会の開催 (11 月～12 月) ・ 青葉区まちのルールづくり連絡会の開催 (2 月) (5) 市が尾駅周辺サイン整備事業 (R 8 : 1,500 千円、R 7 : 0 千円、増減 : 1,500 千円) ＜新規＞ 市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、市が尾駅周辺地区全体における「案内サインの改善」に向け、サインの増設を行います。		

2 脱炭素化促進事業

区政推進課

R8 : 3,500 千円、R7 : 3,300 千円、増減 : 200 千円

住宅地での脱炭素化に向けて、環境性能の高い住宅の普及や「横浜市シェアサイクル事業」(道路局事業)の推進等、脱炭素の取組について幅広い世代に効果的に広報し、区民の行動変容に繋がります。また、区内市立小学校への環境出前授業を実施します。

(1) 移動における脱炭素化促進キャンペーン (R8 : 500 千円、R7 : 1,300 千円、増減 : ▲800 千円)

郊外部の移動における脱炭素化に向け、日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルの利用促進イベント等を実施します。

(2) 脱炭素化に向けた普及啓発 (R8 : 1,500 千円、R7 : 500 千円、増減 : 1,000 千円) <拡充>

環境性能の高い住宅の普及に向けた広報や、イベント等を通じた区民の行動変容に繋がる PR を行い、脱炭素化の啓発を実施します。

8 年度は、区民まつり、あおばを食べる収穫祭、商業施設等での PR に加え、住宅の環境性能の向上に向けた広報などに取り組みます。

(6 月 6 日 青葉台東急スクエアでのイベント)



あおばを食べる収穫祭 (R7.11)



青葉台東急スクエアでのイベント (R7.6)

令和 8 年度 自主企画事業費 (事業別)

(3) 環境出前授業 (R8 : 1,500 千円、R7 : 1,500 千円、増減 : 0 千円)

区内市立小学校向けにペロブスカイト太陽電池を用いた環境出前授業を実施します。(8校で実施予定(5月12日 山内小、6月 黒須田小、7月 美しが丘小、11月 田奈小、榎が丘小、12月 藤ヶ丘小))



講義の様子 (R6.4)



太陽電池の発電で模型を動かす実演の様子 (R6.4)

コラム 横浜グリーンエキスポの機運醸成

開催まで1年を切る8年度は、開催の認知度向上に加え、多くの方にご来場いただけるよう働きかけていきます。区内の高校生と連携したPRの取組や開催100日前など節目のイベント、花・緑・農など区の魅力を生かした横浜グリーンエキスポの情報発信など、区役所一丸となって機運醸成を図ります。

3 広報・広聴事業 区政推進課、戸籍課

R8 : 4,448千円、R7 : 1,985千円、増減 : 2,463千円

青葉区に「住みつづきたい、住みたい」と感じていただけるよう、各種媒体で区内外に青葉区の魅力や区政情報を発信します。青葉区ガイドマップの作成などを通じ、転入者等へ区民生活に必要な区政情報を提供するとともに、区民の青葉区への愛着を醸成するためマスコットキャラクター「なしかちゃん」を活用し、広報します。区民の皆様が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげます。

(1) 魅力発信プロモーション (R8 : 1,500 千円、R7 : 0 千円、増減 : 1,500 千円) <新規>

子育て世代を中心とした居住促進を進めるため、新たに市外に向けて青葉区の魅力を発信します。

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

(2) ガイドマップ作成事業 (R8 : 1,090 千円、R7 : 980 千円、増減 : 110 千円) 青葉区の地図とともに、区政情報・地域情報をまとめたガイドマップを作成します。転入者向けに配布するほか、広報相談係窓口等で配架します。 (3) 転入者向け情報提供事業 (R8 : 974 千円、R7 : 72 千円、増減 : 902 千円) <拡充> 転入手続時に市政・区政や地域の情報等を窓口来庁者へ提供します。【配布部数 : 294 部】 転入者向け情報 WEB ページの閲覧数及び事前 WEB 予約システムの利用率向上に向けた広告を新たに掲載します。(2月～3月) 【WEB 予約件数 : 137 件 (6 件/日)、平均待ち時間 : 3 分 (予約なし平均待ち時間 : 11 分)、最大待ち時間 29 分 (予約なし最大待ち時間 : 65 分) (4月実績)】 (4) マスコットキャラクター活用事業 (R8 : 230 千円、R7 : 380 千円、増減 : ▲150 千円) 青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみやイラストの運用管理及びグッズの製作等によって、区の魅力発信を行います。 (5) その他広報・広聴事業 (R8 : 654 千円、R7 : 553 千円、増減 : 101 千円) ・ 広報研修 (年1回) ・ 広報等に活用する区内写真撮影		
4	メディアによる広報事業	区政推進課 R8 : 5,267 千円、R7 : 5,267 千円、増減 : 0 千円
地域メディアであるコミュニティFM及びCATVで広報番組を制作・放送し、区政情報及び地域情報等の提供を行います。また、アプリのプッシュ通知を活用し、区政情報及び防災情報等を提供します。 (1) FMによる行政情報等の提供 (R8 : 2,403 千円、R7 : 2,403 千円、増減 : 0 千円) 青葉区役所からのお知らせ・イベント情報や青葉区の地域情報等を発信します。また、防災情報、多言語(やさしい日本語と英語、中国語、ハングル、スペイン語)による放送も行います。 (2) CATVでの行政情報番組放映等 (R8 : 2,652 千円、R7 : 2,652 千円、増減 : 0 千円) 区の魅力を発信する番組を年間4本制作し、CATVやYouTubeで放送・公開します。また、各種媒体で番組の広報を行います。 あおバリューTV 放送テーマ : R8.4月～6月「GREEN×EXPO 2027 まであと1年!青葉区から盛り上げよう」 (3) FM++(アプリ)を活用した情報発信 (R8 : 212 千円、R7 : 212 千円、増減 : 0 千円) 区政情報、防災情報、各種イベント情報を、アプリを通じて発信します。		

令和 8 年度 自主企画事業費 (事業別)

5 データ活用推進事業	総務課、区政推進課	R 8 : 3,318 千円、R 7 : 5,818 千円、増減 : ▲2,500 千円
区の実情を把握するために、社会資源や区民意識、ニーズ等を把握するための調査等を実施し、調査結果を公表します。 (※「区民意識調査」は3年ごとに実施(次回は令和10年度)。(R 8 : 0 千円、R 7 : 5,500 千円、増減 : ▲5,500 千円)) (1) データで見る青葉区の発信 (R 8 : 318 千円、R 7 : 318 千円、増減 : 0 千円) 青葉区に関する各種統計情報やその推移について、区民・企業等がいつでも参照できるよう、区のホームページに掲載します。 (2) 地域資源調査 (R 8 : 3,000 千円、R 7 : 0 千円、増減 : 3,000 千円) <新規> 具体的な区民のニーズを把握するため、新たに調査を実施します。8年度は、「子どもが放課後の時間を過ごす場所がほしい」などの声を受け、夏休み期間に利用に関するニーズを把握します。		
6 青葉区民まつり事業	地域振興課	R 8 : 7,340千円、R 7 : 5,675千円、増減 : 1,665千円
地域の活動団体や地域に根差した企業が区民と交流する場となる、区民まつりを開催します。あわせて健康フェスティバルも開催します(主催:青葉区民まつり運営委員会)。 青葉区民まつり事業 (R 8 : 7,340 千円、R 7 : 5,675 千円、増減 : 1,665 千円) ※青葉区健康づくり支援事業からの事業費一部移管による増 ・開催日: 11 月 3 日 (火・祝) ・実施内容: テーマに沿った展示や、地元団体による模擬店、小中高校生による演奏・演技、キャラクターショー等  青葉区民まつり 2025 の様子		

7 芸術文化振興事業	地域振興課	R8 : 4,930 千円、R7 : 5,220 千円、増減 : ▲290 千円
区内で芸術文化活動を行う団体に補助金を交付し、協働して区民が創作・発表・観賞等ができる事業を展開します。 (※「AOBAデジタルアートミュージアム」は市ウェブサイトへ移管。(R8 : 0千円、R7 : 100千円、増減 : ▲100千円))		
(1) 青葉区民芸術祭事業 (R8 : 2,680千円、R7 : 2,680千円、増減 : 0千円)		
主催・青葉区民芸術祭運営委員会		
・青葉コーラスのつどい (10月18日) ・青葉区民作品展 (11月26日～12月7日) ・青葉区民音楽祭 (9月12日～9月13日、11月1日、11月8日) ・青葉区民芸能祭 (12月12日・13日)		
(2) 区民ホールコンサート事業 (R8 : 700千円、R7 : 700千円、増減 : 0千円)		
お昼休みコンサート (プロの音楽家の演奏)、ジュニアフェスティバル (オーディションあり) を開催し、音楽に親しむ機会を提供します。		
・お昼休みのミニコンサート : 毎月第3水曜日 (5月・8月を除く。)【1回開催 (4月実績)】 ・ジュニアフェスティバル (8月5日、6日) ・ジュニアフェスティバルオーディション (5月9日)		
(3) シニアコンサート事業 (R8 : 400千円、R7 : 400千円、増減 : 0千円)		
高齢者が自らの演奏発表の場を得ること、またその姿を身近で応援することで地域の活性化と区民の健康長寿に寄与します。		
・「65歳からのアートライフ」演奏会 (7月19日、2月14日)		
(4) あおば美術公募展事業 (R8 : 1,050千円、R7 : 1,200千円、増減 : ▲150千円)		
区民の美術に親しむ心と創造意欲を育み、交流の機会を提供することで、一層の文化・芸術振興を図ります (7月4日～12日) (出品申込期限 : 5月22日)。		
(5) 郷土の歴史を未来に生かす事業 (R8 : 100千円、R7 : 140千円、増減 : ▲40千円)		
地域の歴史文化に触れる機会を提供し、未来に引き継ぐため、歴史に関する講座や講演会などを実施します。		
・歴史探訪講座 (8回実施予定 (6月～2月、月1回開催 (8月を除く))) ・歴史講演会 (11月27日)		



区民ホールコンサートの様子 (R7.12)

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

8 地域スポーツ振興事業 地域振興課		R8：4,400千円、R7：4,100千円、増減：300千円
地域におけるスポーツ振興を図るため、区民参加型スポーツイベントの開催支援を行うとともに、区民がスポーツを身近に感じられるよう、スポーツに親しむ機会を提供します、また、区民が主体となって運営するスポーツ振興団体を支援します。		
(1) 区民マラソン大会 (R8：3,700千円、R7：3,200千円、増減：500千円) 主催・青葉区民マラソン運営委員会 11月29日実施 (2) トップスポーツチーム連携事業 (R8：200千円、R7：400千円、増減：▲200千円) 市内トップスポーツチームと連携した試合への区民招待等 (3) スポーツ協会補助金 (R8：500千円、R7：500千円、増減：0千円)		
第12回青葉区民マラソンの様子 (R7.11)		
9 区民活動支援センター事業 地域振興課		R8：3,423千円、R7：3,511千円、増減：▲88千円
区民活動支援センターを運営するとともに地域活動の担い手となる人材育成講座を実施し、市民活動・生涯学習の総合的支援を行います。		
(1) 区民活動支援センター事業 (R8：2,533千円、R7：2,621千円、増減：▲88千円) ・相談・コーディネート、情報紙発行、活動団体・まち活パートナーズ登録 (通年) ・つながりづくりの推進 まち活カフェ+ (8回実施予定) ・市民活動の支援および知識の習得 市民活動支援講座 (2回実施予定)、スマホ相談会 (4回実施予定) ・活動発表の場の創出 区民活動支援センターde 区民まつり (11月3日) (2) 地域デビュー応援事業 (R8：890千円、R7：890千円、増減：0千円) ・地域デビュー応援講座「あおば はじめの一步講座」(連続講座／5回実施予定)、フォローアップ講座 (11月26日) ・区民企画運営講座 (5団体)		

10 青葉まちの美化推進事業	地域振興課	R8 : 2,849 千円、R7 : 2,994 千円、増減 : ▲145 千円
「ヨコハマ プラ 5.3 計画」の推進や 2050 年脱炭素化社会の実現に向け、3R の推進（特に、プラスチック対策と食品ロスの削減）を進めるとともに、地域の自主的な美化活動への支援と不法投棄防止対策に向けた取組により、清潔できれいな街づくりを推進します。 (1) 3R 推進事業 (R8 : 865 千円、R7 : 969 千円、増減 : ▲104 千円) ・楽描きマイバッグ作り教室 (6 月、11 月) ・土壌混合法講座 (3 回実施予定 (6 月、10 月、3 月)) ・夏休み 3R 教室 (8 月) ・あおばフードドライブ大作戦 (10 月) ・プラスチックごみの分別・リサイクルの啓発 (通年) ・フードドライブの受付 (通年) 【10 点、2.9 kg (4 月実績)】 ・リユース文庫のシール貼付作業・運搬回収 (通年) 【1,933 冊 (4 月実績)】 (2) 街の美化推進事業 (R8 : 1,984 千円、R7 : 2,025 千円、増減 : ▲41 千円) ・「青葉まちの美化推進事業補助金」交付 (8 月) ・区民参加型クリーンアップイベント「クリーンウォーク」の実施 (青葉台 : 10 月、たまプラーザ : 12 月、あざみ野 : 2 月) ・青葉まちの美化推進功労者表彰 (11 月) ・地域清掃用バイオマス素材のごみ袋配付など地域清掃支援 (通年) 【6 団体、1,450 枚配付 (4 月実績)】 ・不法投棄防止監視システムの運用 (区内 8 箇所 13 基設置) (通年) ・放置自動車一時移動対策委員会・不法投棄防止対策会議 (区・土木・資源循環局青葉事務所・警察・消防/年 4 回予定) ・空閑地調査及び所有者・管理者への文書による連絡 (通年)		
		
事業ロゴ		クリーンウォーク (R7.12)
11 自治会町内会支援事業	地域振興課	R8 : 2,241 千円、R7 : 2,141 千円、増減 : 100 千円
自治会・町内会への情報提供の充実、自治会・町内会間の協力・連携の場の提供により、自治会・町内会を中心とする地域団体との連携を強化します。また、地域運営に尽力してくださる方々へ感謝を伝えるため、自治会町内会長感謝会を実施します。 自治会・町内会連携促進事業 (R8 : 2,241 千円、R7 : 2,141 千円、増減 : 100 千円) ・区連会の開催による自治会町内会への情報提供 : 毎月 (8 月、12 月を除く) ・自治会町内会長感謝会の実施 : 3 月		

12 あおば地域サポート事業	地域振興課	R8 : 1,760千円、R7 : 2,055千円、増減 : ▲295千円
地域における人材の発掘・育成及び地域協働の支援を目的とした「地域課題解決応援事業」、地域活動のスタートを支援する「あおばスタート補助金」、中間支援施設の連携強化を図る「区民利用施設交流会」を実施します。 (1) 地域課題解決応援事業「あおばちえのわ」(R8 : 700 千円、R7 : 690 千円、増減 : 10 千円) 地域活動団体を対象に、共通する地域課題や団体運営上の悩み等について学ぶ講座を開くとともに、参加者同士がつながりをつくり、連携を深めるための交流の場を設けます (4回実施予定：7月、9月、12月、2月)。 (2) あおばスタート補助金(R8 : 1,000 千円、R7 : 1,205 千円、増減 : ▲205 千円) 地域の課題やニーズに合わせて、地域活動の担い手である区民の皆様が地域課題の解決に向け主体的に実施する新たな事業や、ニーズやライフスタイルの変化を捉えた新しい活動スタイルへの転換など既存の取組の改善・見直しを行う事業を支援します。 (募集期間：4月1日～7月31日) (3) 区民利用施設交流会(R8 : 60 千円、R7 : 60 千円、増減 : 0 千円) 区民利用施設の職員を対象に、顔の見える関係を築き、連携を深めることを目的として、グループワークも取り入れた交流会を実施します(9月頃)。		
13 花と緑があふれる街事業 地域振興課 R8 : 1,742 千円、R7 : 1,712 千円、増減 : 30 千円		
花苗等の配付や研修会等の開催により、地域の緑化ボランティア(あおば花と緑のサポーター)の活動支援を行います。 ボランティア支援事業(R8 : 1,742 千円、R7 : 1,712 千円、増減 : 30 千円) ・花苗等の配付：6月、11月 ・活動グッズの配付：11月 ・研修会等の開催：3月		



「あおばちえのわ」の講座の様子(R7.8)

令和 8 年度 自主企画事業費 (事業別)

14 商店街活性化・中小企業振興事業	地域振興課	R 8 : 1,650 千円、R 7 : 1,445 千円、増減 : 205 千円
各商店会が地域と連携して実施する集客イベント等を支援するとともに、区内商店街の利用及び店舗の加入促進のためにPRを行います。また、地域団体や企業と連携しながら、区内企業を育成するため起業支援イベントを行います。 (1) 商店街活性化事業 (R 8 : 600 千円、R 7 : 395 千円、増減 : 205 千円) < 拡充 > ・ 青葉区商店街活性化連携事業補助金の交付 ・ 商店街からの相談対応 ・ 商店街新規加入の案内電子リーフレットの作成 (2) 中小企業振興事業 (R 8 : 1,050 千円、R 7 : 1,050 千円、増減 : 0 千円) ・ 起業家と起業を目指す人との交流会の開催 ・ 区内起業家同士の交流会の開催		
15 地域での読書活動推進事業	こども家庭支援課	R 8 : 640 千円、R 7 : 700 千円、増減 : ▲60 千円
横浜市民の読書活動の推進に関する条例に基づき策定した青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境づくりを進め、併せて区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図ります。 読書活動推進事業 (R 8 : 640 千円、R 7 : 700 千円、増減 : ▲60 千円) ・ 図書類の更新 (区内 14 施設)、CD ブックの更新 (山内図書館) (1 回実施予定 (10 月 ~ 12 月)) ・ 読書バリアフリー推進のため、区内施設において「りんごの棚」の図書類を拡充 (1 回実施予定 (10 月 ~ 12 月)) ・ 講演会及び読書活動を行う団体等の交流会等の開催 (1 回実施予定 (12 月 ~ 3 月))		



誰もが利用しやすい本を集めたコーナー (R7. 12)

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

16 区民サービス向上事業 総務課、区政推進課、戸籍課、保険年金課、税務課 R8 : 9,479 千円、R7 : 10,516 千円、増減 : ▲1,037 千円

区民、来庁者に対する対応及びおもてなしの向上に向けて、職員向けの人材育成・人権啓発研修、区庁舎等の環境整備等を行います。

(1) 人材育成・人権啓発推進事業 (R8 : 836 千円、R7 : 1,510 千円、増減 : ▲674 千円)

- ・人権啓発研修・人権啓発講演会 (6月～2月))
- ・人材育成研修、データ活用・デジタル化関連の研修 (4回程度実施予定 (7月～2月))

(2) 誰もが利用しやすい区庁舎等の環境整備 (R8 : 5,983 千円、R7 : 7,626 千円、増減 : ▲1,643 千円)

区庁舎及び区民利用施設の設備、備品の更新、庁舎等の環境整備を行います (通年)。

(3) 戸籍課窓口の混雑対策 (R8 : 860 千円、R7 : 870 千円、増減 : ▲10 千円)

来庁者及び入電数が増加する繁忙期に、電話対応の一部を委託します (4～5月、3月)。

【電話対応 : 2,074 件、平均 98 件/日 (うち、委託による対応数 460 件、平均 21 件/日) (4月実績)】

(4) 保険年金課受電の混雑対策 (R8 : 1,400 千円、R7 : 300 千円、増減 : 1,100 千円) <拡充>

電話でのお問合せが増加する繁忙期に自動応答システムを導入し、電話がつながりにくい状況の改善につなげます (6月～8月)。

(5) 税務に関する電子申請推進 (R8 : 400 千円、R7 : 210 千円、増減 : 190 千円) <拡充>

e-Taxによる確定申告の利用促進や税証明等のオンライン申請の更なる普及を目指し、啓発物品を作成し、区民にオンラインでの手続き等を周知します。

4 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	R8 : 14,588 千円、R7 : 15,769 千円、増減 : ▲1,181 千円
1 子育て支援事業 子ども家庭支援課	R8 : 9,558 千円、R7 : 10,827 千円、増減 : ▲1,269 千円
妊婦とそのパートナー及び子育て中の養育者が抱える育児不安や孤立感を軽減し、安心して子育てできるよう、支援の充実を図ります。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援者・機関と、協働・連携しながら進めます。	
(1) 青葉区子育てネットワーク (R8 : 964 千円、R7 : 904 千円、増減 : 60 千円) <拡充>	
こどもや青少年の育成支援を行っている関係機関が集まる「つながりミーティング」と、地区別の「子育て支援ネットワーク連絡会」を通じて、妊娠期から青少年期までの切れ目ない支援体制づくりを進めます。「出張子育て相談ひろば『おでかけラフル』」は、常設の親子の居場所が少ないエリアと夏場には酷暑対策の一環として、たまプラーザ駅周辺の室内施設を活用して実施します。	
・つながりミーティング：6月、2月実施予定 ・子育て支援ネットワーク連絡会：事務局会議（年3回）、地区別連絡会（11か所×各1回）、関係機関向け研修会（8月26日） ・出張子育て相談ひろば：年14回実施予定	
主な予定	
藤が丘第3公園（雨天：藤が丘2丁目B自治会館）3回実施予定（6月25日、10月29日、11月26日）	
さつきが丘コミュニティハウス 3回実施予定（5月27日、他日調整中）	
夏場に室内で子どもが遊べる機会の提供 4回実施予定（プラーザホール）	
	
おでかけラフル@松風台自治会館（R7.10）	
(2) 赤ちゃん教室 (R8 : 1,268 千円、R7 : 1,090 千円、増減 : 178 千円) <拡充>	
主に第一子の0歳児の親子を対象に、専門職による講話・指導を行います。8年度は一部の会場で父親も参加しやすい工夫を取り入れて実施します。	
・赤ちゃん教室 180回実施予定（18会場×月1回（8月、1月を除く）） 【18回実施 110組参加（4月実績）】	
・男性保育士による父親支援 16回実施予定（8会場×2回）	
(3) 赤ちゃん休憩室 (R8 : 424 千円、R7 : 404 千円、増減 : 20 千円)	
地域のボランティアと協働で、市営地下鉄あざみ野駅構内のスペースに親子が休憩等で利用できる場を提供します。	
・開所時間：毎週月曜日～金曜日（10:00～16:00、祝日含む）※年末年始を除く。	

(4) 乳幼児健診ふれあい見守り保育 (R8 : 962 千円、R7 : 1,097 千円、増減 : ▲135 千円)

健診会場にてきょうだい児並びに受診対象者及びその保護者のサポート等を行います (毎月6～8回 (年88回))。

【8回実施 ボランティア 18人参加 (4月実績)】

(5) プレパパ・プレママクラス (R8 : 1,407 千円、R7 : 1,319 千円、増減 : 88 千円) <拡充>

出産前から両親共に必要な知識を得て産前産後のイメージができるようになることで、安心して子育てができるようプレパパ・プレママクラスを実施します。父親支援の一環として、プレパパ同士が交流できるプログラムを取り入れます。

・実施予定回数 : 合計24回 (平日年6回、土曜日年18回)

・実施予定場所 : 区役所 (平日及び土曜日)、地域子育て支援拠点ラフール (土曜日)

【合計2回実施 (平日1回 (区役所) 8組16人参加、土曜日1回 (ラフール1回) 11組22人参加) (4月実績)】

(6) こどもの育ち応援事業 (R8 : 1,100 千円、R7 : 1,093 千円、増減 : 7 千円)

見通しをもった育児ができることで、養育者の育児不安が緩和され子どもが健やかに育つことを目指して、養育者向けの講座を実施します。また、両親が外国人の養育者と子どもを対象としたこんにちは赤ちゃん訪問を実施します。

・親育ち講座 : 年3回実施予定 (7月11日・11月14日・2月27日)

・妊娠期からのメンタルヘルスオンライン講座 : 年2回実施予定 (7月30日・11月19日)

・子育て相談ひろば「にこにこ」 : 年6回実施予定

・小児科医によるオンライン講演会 : 年2回実施予定 (10月～11月)

・外国人パパママこんにちは赤ちゃん訪問 : 年18件実施予定 【1件 (4月実績)】

・産前産後のからだケア : 年34回実施予定 【1回実施 6人参加 (4月実績)】



産前産後のからだケア (産後) (R7.7)

(7) 子育て情報発信事業 (R8 : 3,433 千円、R7 : 4,920 千円、増減 : ▲1,487 千円)

子育て世代が地域とつながり孤立することなく子育てできるよう、地域子育て支援拠点のホームページに、より地域に密着した情報を発信します。また、子育て情報提供員が窓口にて区内の子育て情報を提供します。その際、来庁した父親に対しても情報提供等を行います。

・地域子育て支援拠点ホームページによる情報発信 【HP合計アクセス数 8,724回 (4月実績)】

・子育て情報提供員の配置 : 月曜日～金曜日 (8:45～17:00) ※休庁日を除く。

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

再配当事業 地域子育て支援拠点運営事業 (こども青少年局)

父親支援や多様な家庭の利用促進を目的に、地域子育て支援拠点を年2回、日曜に開所します。

- ・ラフルール (青葉台)、ラフルールサテライト (市ヶ尾) で各1回
(ラフルール: 9月実施予定、サテライト: 2月実施予定)
- ・通常の開所日同様、10時～16時にひろばを開催
- ・父親を対象とした取組も実施
- ・日曜開所による別日の代休設定は行いません。

2 児童虐待・DV対策事業 こども家庭支援課

R8 : 2,756千円、R7 : 2,596千円、増減 : 160千円

児童虐待・DVの早期発見と迅速な対応を図るため、職員の専門性の向上や関係機関との連携強化を目的とした研修を実施するとともに、弁護士による女性福祉に関する法律相談を行い、適切な支援につなげていきます。また、来庁者が安心して相談できるよう、窓口環境の改善を行います。

(1) 児童虐待対策事業 (R8 : 2,386千円、R7 : 2,226千円、増減 : 160千円)

- ・保育施設向け研修会 : 年1回実施予定 (10～12月)
- ・支援強化検討会 : 年2回実施予定 (9月、2月)
- ・見守り保育 : 週3回程度実施予定 (4～3月、ただし年度始め等は週5回実施) 【17回実施、利用件数231件 (4月実績)】

(2) DV専門相談 (R8 : 370千円、R7 : 370千円、増減 : 0千円)

月2回 (年24回) 区役所にて開催 【2回開催 利用件数4件 (4月実績)】

3 市立保育所の地域育児支援事業

こども家庭支援課

R8 : 1,588千円、R7 : 1,540千円、増減 : 48千円

子育てに関する不安や悩みの解消及び家庭における育児力の向上を目的として、市立保育所が、地域の妊婦並びに在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を対象に、ニーズに応じた「つながり」の形成を図る育児支援事業を実施します。また、市立保育所が地域に開かれた存在となり、地域全体で子育て世帯を支える風土を醸成します。さらに、猛暑により通常の園庭開放が困難となる8月には、ケアプラザでの出張園庭開放を通じて親子が集える場を提供します。

令和8年度 自主企画事業費 (事業別)

市立保育所の地域育児支援事業 (R8 : 1,588 千円、R7 : 1,540 千円、増減 : 48 千円) <新規>

・園庭開放 : 美しが丘保育園 週5日、荏田保育園 週5日、奈良保育園 週2~3日、すすき野保育園 週3日

【園庭開放・ホール開放 41人利用 (4月実績)】

・出張園庭開放 in ケアプラザ : 8月に5回実施予定

・育児講座 : 4園合計 年15回程度実施予定

・育児相談 : 4園で実施予定 (美しが丘保育園・荏田保育園 週5日、奈良保育園・すすき野保育園 週1日)

・給食体験 : 4園合計 年40回程度実施予定

・Instagram「おかわりなしちゃんねる」配信 : 月4回程度実施予定 【Instagram配信回数 5回 (4月実績)】

・職員向け動画編集等研修 : 年2回実施予定

・子育て支援イベント『Aonico ひろば』の開催 : 年5回程度実施予定

・潜在保育士向け保育士体験 : 6月から開始、随時受入

4 青少年育成事業 こども家庭支援課

R8 : 686千円、R7 : 806千円、増減 : ▲120千円

学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図ります。また、地域における連携のもとでの支援を一層促進します。これらにより、地域力の充実・強化を図り、活力あるまち・さらなる魅力的なまちづくりと将来への継承に寄与します。

(1) 保護者向け講演会の実施 (R8 : 200 千円、R7 : 200 千円、増減 : 0 千円)

小1の壁の不安軽減のため、個別相談やキッズクラブ・児童クラブの体験もできる保護者向け講演会を開催します(9月)。

(2) 多世代交流等による青少年育成事業 (R8 : 486 千円、R7 : 606 千円、増減 : ▲120 千円)

青少年の地域活動拠点と連携し、中学生・高校生・大学生ボランティアによる小学生を対象とした学習支援「みんなの学習室」の実施(夏休み、冬休み、春休み)を通じ、多世代交流の機会を提供します。

・実施場所 : 青少年の地域活動拠点、地域ケアプラザ、地区センター

・広報よこはま7月号で参加者募集予定



みんなの学習室 (R7.8)